

那 覇 市 教 育 委 員 会 会 議 録

平成22年度第21回（定例会）

署名人 金城真徳

委員長 城間勝

開催日時 平成23年2月1日（火） 開会 午前10時00分

閉会 午前11時15分

開催場所 那覇市教育委員会 第1会議室

出席委員 城間勝委員長、田端温代委員、金城真徳委員、城間幹子教育長

議事日程

報 告 平成22年度全国高等学校総合体育大会那覇市実行委員会の事業報告及び収支決算
について（高校総体推進室）

報 告 那覇市立学校適正配置計画（統合・分離）素案に関する説明会実施状況について
(総務課)

出席職員

新城和範生涯学習部長、東恩納隆栄総務課長、我那覇生男高校総体推進室長
仲程直毅総務課副参事、細田聖子高校総体推進室主事

会議録作成 仲間稔総務課主査

城間委員長　ただいまから平成22年度第21回教育委員会会議定例会を開催いたします。本日の会議録署名は金城委員にお願いいたします。それでは報告「平成22年度全国高等学校総合体育大会那覇市実行委員会の事業報告及び収支決算について」について説明をお願いします。

新城部長　報告理由説明

我那覇室長　説明

城間委員長　この件につきまして、ご質問、ご意見等ございましたらお願いします。

金城委員　今回、顧問という立場で、なぎなたのプレゼンターという大役をさせていただき本当にありがとうございました。今回たくさんの方々が出て良かったのですが、経済効果的はどうでしたか。

我那覇室長　県議会での発言で、県の教育長が議会の中で、県の試算で193億円の経済効果があったというふうに言われております。

金城委員　今回、離島県という立場のため観客は少なかったのでしょうか。

我那覇室長　観客数は28日に総合開会式があり、26日から選手団が入ってきます。それに伴って県外の一般の方たちが、飛行機が取れない、ホテルが取れないというような電話連絡など実行委員会の方にありました。実際、その期間は飛行機の方も満杯、ホテルも満杯というような状況だったので、この期間ではこれが限界かなということがありました。

田端委員　いま報告を聞かせていただいて夏の感激というのが蘇ってきて、こんなふうにして皆さん努力されて、大きな大会を無事乗り切られたんだと改めて感謝いたします。特に高校生の会場係であるとか、ボランティアであるとか一人一役とか、動員されて感謝しております。

城間教育長　高校生の大会に対しての競技参加、それから一人一役ということでの参加、それから開会式のイベントの参加、いろんな形での参加が高校生のインタビューの声にも表れていましたが、おそらく人生の中で大変良い勉強をさせていただこうというふうに思いました。特に、競技について本人が知らなくても、その競技の内容によっては静かにしなければいけないとか、いろいろとしなければならぬ部分もたくさんあったと思いますし、それとともに礼法指導、いろいろなマナー、接遇などを学んで、おそらくこれから社会へ出て会社勤めをしたり、何々をしたりというときに相手に対する心使い等々は本当に役立つだろうと思います。目に見えぬ指導、仕組まれた良い進路指導ができ、いい経験だったと私は感じています。

城間委員長　開会式はかなりの雨が降り、非常な寒さの中で震えながらもすばらしい空手の演技をする高校生に非常に感動しました。沖縄の高校生ができるんだということで自信に繋がったと思います。もう1点は柔道会場で市長が急に出られないということで市長杯を授与することになり非常に良い思い出になり、個人的にも感動を受けました。

城間教育長　各種目の責任者の方に、沖縄の運営はいかがですかと質問しましたら、最高だというふうなお言葉もいただきましたので、いろんな形で各種目の担当が頑張ってください

ったというふうに、私どもも感謝しています。

新城部長

決算報告で説明したいのですが、10ページの第2号議案の収入額、支出額、差引額で、結果的に1,275万3千円の余剰金が出たということになります。この大会運営前にかなり予算が厳しいということで新聞でも報道していただいて、その予算作りに担当者は非常に四苦八苦してきたところですが、予算節減のために、前の大会は奈良県でしたが、看板類の作成に関して自作するのではなく、そこから運んできて、その方が経費上は安かったということもあって、そういった取り組みを一生懸命やってきた結果でもあります。もちろん入札を実施して契約残もありましたが、そういった中で、四苦八苦して大変な努力をした中で、この1,200万円というのはかなり大きな意味があるというふうに思います。ですから今回、この額は那覇市にそっくり返還するというので、1,200万円という数字がでているのも、今回の大会の成果だと思っております。

田端委員

私は弓道というものを初めて見させていただいて、やはり日本の古武道の良さというものを感しました。大抵のスポーツは大きな声を出してお互い励まし合うというようなものですが、弓道というものは、唯一、スポーツの中で自分自身との戦いが弓道ということで、ヨーロッパなどでも少しずつ広がり弓道連盟というものも立ち上がりつつあるそうです。事前の心構え、仕草などなかなか良いものだなという感じを受けました。これが那覇市で行うことができ、大変よかったと思い感謝します。

城間委員長

冊子を見ながら、改めてすごいことをしたんだなと感じました。ご苦労さんと申し上げたいと思います。それでは、報告「平成22年度全国高等学校総合体育大会那覇市実行委員会の事業報告及び収支決算について」報告を了承したいと思います。続きまして、報告「那覇市立学校適正配置計画（統合・分離）素案に関する説明会実施状況について」説明をお願いします。

新城部長

報告理由説明

東恩納課長

説明

城間委員長

この件につきまして、ご質問、ご意見等ございましたらお願いします。

田端委員

両校とも参加しまして、久茂地小学校の気持ちも、前島小学校の気持ちもよく伝わってきて、当然かなと思います。実は、日曜日に校区の統合とは違うことですが、大神小学校が廃校になったという話を宮古島市の方とPTA大会で意見交換しました。そこが廃校になる時にその反対運動の先頭を切った方が、こういうことをおっしゃりたいです。僕はこの小学校を存続させたくて、孫達を3人呼び寄せて学校に行かせた。その結果について自分は正しい選択だったのだろうか。とても悩み、自分のやり方は間違っているといま思っていますよ、ということでもあります。これがスタートですけれども、たぶん話し合いをこれからたくさん続けることが一番大事だと思います。どんな反対意見でも話し合っているうちに相手の立場が理解できるようになると思います。市長のお話で、新川にあります焼却場の際に市民と話し合いをするために何度何度も足を運んで話を聞いて、それで理解してもらったということ

お聞きしたことがあります。久茂地小学校の統合に私は賛成ですと本当は賛成かもしれないけれども、言えない立場の方もたくさんいらっしゃると思います。ある時、壺屋小学校の校長先生に父兄から、こんなに児童が少なくていいのか。どこかと一緒になった方がいいと思います、という方がいたそうです。壺屋小学校でも児童数が減少し、教育的効果が薄れてきたことに対して危機感をもっている親もいるということです。久茂地小学校の説明会で、賛成です、とこの時点で声を出すということはご父兄の中で無理があるだろうと思います。事務局の皆さんは大変だと思いますが、何度も話し合いをもって、いろいろ考えてみると総合的な判断でということ、やはり話し合いの場でしか生まれてこないと思い、皆さんにご苦勞をお願いしたいと思います。

新城部長

今回の説明会で、1つには適正規模というのは何だろうか。つまり子ども達の教育効果が高められる学校の規模、学級の規模あるいは1学級の子どもの数の数が、根本的にどの人数がいいのかということの議論がされています。このことについては学校教育部を中心にいろいろ対応してもらっていますが、このことについても2回目以降は細かな形で説明していきますので、そういった意味では学校規模、子ども達の教育環境はどうあるべきかということが1つ。もう1つは手続き過程、プロセスをどう考えるか。今回、方針を示してから4年ぐらい経ちますが、その間何をしてきたか。教育委員会はここにきて、きちんと詰まった内容で、ありきという素案で、これはすでに決まったことだという提案の仕方をしているけれども、その間何をしてきたのかという質問もあるわけです。一応方針を作る前に6ブロックに分けて学校でそれぞれ説明している経過もあります。その他、久茂地小学校に限って言えば、久茂地小学校区の関係者の皆さんの主催で当時の生涯学習部長を呼んで意見交換をしてきた、そういった経過もあります。それを踏まえての方針が平成18年度にできたということになっていますが、確かにその後は動きが具体的になってきて、おっしゃるとおりなんです。教育委員会としても、その後の児童数がどう増えているんだろうかということを観測をしていた、ということもありますし、そういうところも説明しながらやっていますが、しかし、まだ積極的にこれで納得したということではありませんので、今後もソフトを含めて丁寧な説明をしていきたいと思っています。

城間委員長

積み重ねていく以外ないと思います。丁寧に丁寧に答えていって、理屈で問うところは理屈で答え、最終的には感情論で言うでしょうけれども、理屈で答えていく以外ないと思います。ここに出てくる声、声なき声というのをどういう具合に集約するのか。通学区域のように説明会に参加した人数で、1回目、2回目と、人数を見ながら減ってきているということで、できるかなという感じはします。おそらくこの数字はずっと150名でいくと、私はどうかなと思います。言いたいけれど、言えない人たちの声もどう感じれば、聞き取ればいいのかという課題もそこにあると思いますが、聞いて丁寧に答えて、それしかないのかという思いです。

金城委員

田端委員のおっしゃった市長の件もありますが、何度も足を運ぶ以外ないかもしれないですね。ちなみに1つの学校が統廃合されると1校あたりどのくらい財政的に削

減されるのですか。

城間教育長 前の試算の中では1校分おおよそ4、5千万円ぐらいです。そういう試算が、平成17年度の説明会のときに質問があって、そのように答えたというデータが残っております。

東恩納課長 これは平均で1校にかかっている経常経費、維持管理費みたいなもので、規模が小さくなるとこれよりは少なくなると思います。

城間教育長 ただ、逆にこれを出したために、そういうお金のために子ども達をとということもありました。

新城部長 維持管理費が年間それだけ必要となっておりますが、仮にこれが統合されるとその分だけ、更に節減が進む形になります。逆にいえば統合新校の施設設備等の整備にある程度お金をかけて、それで十分になるという考え方もあると思います。おそらく今回前島小学校で必要な部分がありますので、そのことを強く市長部局とも調整をしていきながら、できる限り良い学校にしていこうと考えております。

田端委員 ここにきて私たち教育委員会に何ができるか。どんなふうにして私たち教育委員を活用していただければいいのかと考えた場合、例えば通学距離が長いといった時、これは私たちが理解するためにも、私たち一人ひとりが歩いてみて、こういうところは大丈夫と思いますよといったら説得力が違ってくると思います。できるだけ、例えば給食を食べる機会やそれから学習発表会であるとか、そういうふうに心がけてみんなが久茂地小学校へ何うようなことも必要だと思います。こうなただけけれどもと言われた時にお答えできるように、相づちが打てたり、同意できたりというふうに、そういうことでもって地域の皆さんの心を少し和らげていくようなことは教育委員の役割かと思えます。自分たちが賛同してオッケーし、これでやっていきますよということですから、久茂地小学校に教育委員の皆さんがきて、確認してきちっと進めていくということが確実に証明できれば、それが私たちの役割ではないかなと思います。

城間教育長 先ほど壺屋小学校のお話が出ましたが、私も壺屋小学校の説明会へ伺ったときに、自分は今年でPTA活動を卒業するという保護者が、終了後の体育館入り口で叫んでいらっちゃった。大変です、小規模校はPTA活動が成り立ちません。というふうに叫んでいて、何とか子ども達を増やしてくださいというような話をしていちゃったんです。壺屋小学校は幸い泊小学校との分離等である程度は増えてくるのでよかったんですが、そのお母さんがPTA活動も成り立ちません、小人数でずっとずっと役員です、活気もない、そう言っていちゃったのがとても印象的でした。そう考えていらっしゃる保護者もいるということです。

田端委員 時々、私には今日は合唱コンクールだから来てくださいと校長先生から電話があります。その場合は必ず、はい、と言って伺います。今日は学校でこういう行事がありますから来てくださいと、ぜひ呼びいただければ私どもも行きやすいと思いますので、3人のうち誰かは都合をつけて伺いますので、ぜひ遠慮なく要望ください。壺屋小学校の先生方が言うには、先生が2人休みますと学校はパニックってしまってどうに

もならないとおっしゃる。何が一番大変ですかと聞いたら、学校の掃除が子ども達は大変だと。たまたまモノレールの駅から見ましたよと私がよく言うものですから、モノレールの駅から見える前面だけでもきれいな花で飾ろうと思うんですよ。でも先生1人の力ではなかなか追いつかなくて、授業だけではなく、学校を運営していく上で重要なことで、大変ですよということをお聞きしました。

金城委員

地域の皆さんの話では、議員の皆さん個別に考え方を正していく要望、市長へも直々に陳情というふうなことを会議の中で話しているそうです。

新城部長

今後の動きをどうするかということですが、まず2回目の説明会をしようと思っています。これについては来る15日から那覇市議会が召集されます。2月定例会です。できればその前に、それぞれ2回目の開催をしたいというふうに考えていましたが、久茂地小学校の方へ存続させる会を窓口として照会しましたが、3月の子ども達の卒業式を終えた後にしていただきたい、というふうな希望を出しています。ということで久茂地小学校については、事実上そこまで延ばすということで考えています。前島小学校については校区の違いもありますので、必ずしも説明会の開催については、いまの段階で開催することについての反対はないようですが、まだ回答はいただいていませんので、これについては決まりましたらお知らせいたします。と申しますのも、やはり最終的には議会で条例の廃止制定というのが最終的な結論になりますので、議会サイドの協力を得られない限りはこの計画は完結しません。したがって2月定例会、この統合問題について与野党問わず質問が出るだろうと思っております。まだ条例を制定廃止をする提案ではありませんが、現段階はどういった状況かというようなことでの話になります。1回目の説明会の状況を説明しながら教育委員会の考え方を丁寧に説明するということになります。それともう1つ。先だって市長へも報告しましたが、やはり市長も丁寧に説明することが大事だろうとおっしゃって、これは回を重ねて、出席者が数名であったとしても、きちんと説明会をもって説明するような、そういった意気込みといいますか、心構えをやっていただきたいというふうな助言をいただいております。ですから今後は我々がそのところをいかに実行できるかということだと思っております。

城間委員長

よろしいでしょうか。それでは報告「那覇市議会12月定例会における議決議案及び代表・個人質問答弁状況について」報告を了承したいと思います。以上をもちまして、平成22年度第21回教育委員会会議定例会を終了します。